

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合 (’07Z-MR(TCF931R)用)

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)
特殊コードラベルの品番は、特殊コードラベル*一覧をご確認ください。

*アフターサポート期間が終了したため、ラベルの発注はできません。

2. 連立トイレの配置例

正 規 品	(タ イ 1 プ) 1	(タ イ 2 プ) 2	正 規 品	(タ イ 1 プ) 1	(タ イ 2 プ) 2
(タ イ 3 プ) 3	(タ イ 4 プ) 4	(タ イ 5 プ) 5	(タ イ 3 プ) 3	(タ イ 4 プ) 4	(タ イ 5 プ) 5

3. 連立トイレ対応方法

<<本体側の設定方法>>

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォッシュレット本体側)

手順

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

1

本体操作部の **運転 入/切** を10秒以上押し続ける

10秒後に全てのランプが**2秒間点灯**します。

本体表示部

TOILET WASHLET

- 運転
- 温水
- 便座
- 節電

緑色点灯

この間**2秒**

TOILET WASHLET

- 運転
- 温水
- 便座
- 節電

運転・温水・便座 → 緑色点灯
節電 → 橙点灯

TOILET WASHLET

- 運転
- 温水
- 便座
- 節電

ランプが全点灯から点灯または点滅になったら、最初からやり直してください。

※下図は例です※

本体操作部

運転 入/切 ビデ 入/切 おしり 入/切

手順3まで押したまま

2

運転 **入/切** を押したまま本体の全ランプが点灯(2秒間)

すると、**すぐに** **ビデ 入/切** を5秒以上押す。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

運転 入/切 ビデ 入/切 おしり 入/切

3

※失敗した場合は、もう一度手順1からやり直してください。

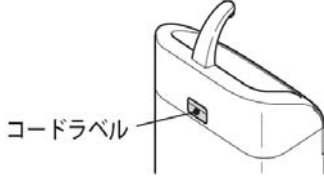
運転 **入/切** を押したまま、**おしり 入/切** を押す。

おしり 入/切 を押すたびに標準→特1→特2…特9→標準と設定が切り替わります。

本体表示部

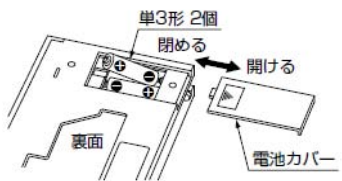
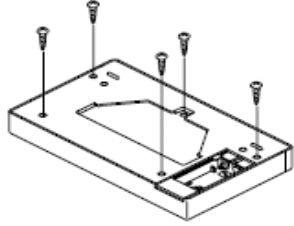
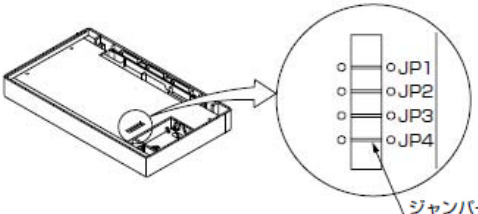
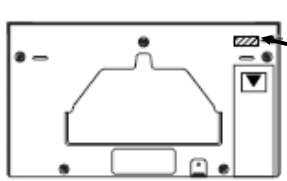
●…点灯 ×…消灯

	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9
運転	●	×	●	×	●	×	●	×	●	×
温水	●	●	×	×	●	●	×	×	×	●
便座	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×
節電(タイマー・おまかせ)	×	×	●	×	×	×	×	●	●	●

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)	
4	運転 <input type="checkbox"/> 入/切	から手を離れた時点で設定したコードになります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。 </div>
5	ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。	 <p>コードラベル</p>

※リモコン側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

<<リモコン側の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																																							
1	 <p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。 (乾電池が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意!!</p> <p>電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p> </div>																																																							
2	 <p>リモコン裏面のねじ5本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p>																																																							
3	 <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意!!</p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> </div> <p style="text-align: center;">◎:つながったまま ×:切断</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジャンパ線 JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP4</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>リモコン基板上の4本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特9へ切り替える。</p>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	ジャンパ線 JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																														
ジャンパ線 JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×																																														
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎																																														
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎																																														
JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×																																														
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。</p> <p>②リモコンに乾電池を入れてリモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																																																							
5	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>例 リモコンコード特1</p> <p>このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> </div> <p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																																							

※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
(内部精密機器を破壊するおそれがあります。)